

乳歯の後ろから永久歯が?!

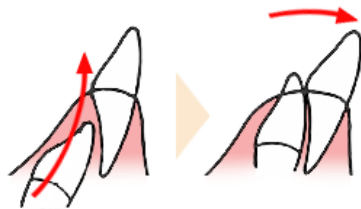
二枚刃のような歯並びは大丈夫?

「歯の健康教室」は、スマートフォンでもご覧いただけます。



永久歯のたまご（歯胚）は、もともと乳歯の下の歯ぐきの中に埋まっていて、生え変わりの時期を、少しずつ成長しながら待っています。永久歯が大きくなるにしたがって乳歯の根が溶かされ（＝吸収され）、グラグラして抜けるという仕組みです。

理想的な生え変わりは「乳歯の抜けた後を見ると、永久歯の頭が少し見える」という状態ですが、特に下の前歯の永久歯は、昇りエスカレーターのように、後ろから斜め前に出てくることが多いため、乳歯が抜けていないと重なるといった状態が起こりやすいようです。



下顎の切歯の萌出（ほうしゅつ）

ほとんどの場合は、邪魔している乳歯が抜けてしまえば、永久歯は正しい歯並びの位置に自然と並びますのでご心配はいりません。

ただ、二枚刃のように歯が重なっている時期が長いと、歯磨きが困難になって永久歯に汚れが残る原因になるため「自然に抜けるのを待つべきなのか、早めに抜いた方が良いのか」を歯科医院にご相談されることをおすすめします。



また、乳歯に比べて永久歯は黄色みが強いいため、白い乳歯と混在している時期に永久歯の黄色さをご心配される方もいらっしゃいますが、個人差はありますが、正常な状態ですのでご心配はいりません。

